



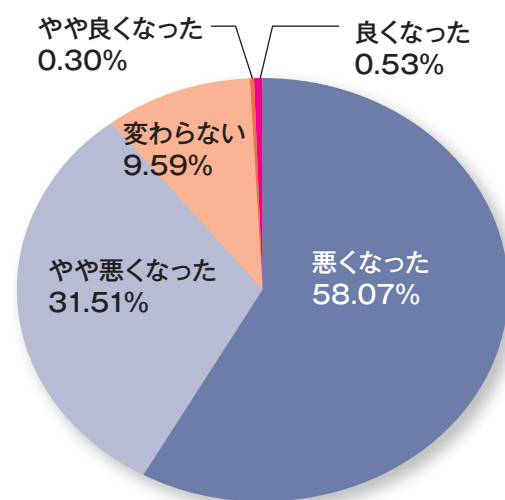
物価高騰から市民の暮らしを守れ！ 来年度からの公共施設の利用料の値上げ中止を！

第2回定例会が6月5日から25日まで行われ、物価高騰が続くなか、市長から公共施設の利用料値上げの議案等が提出されました。日本共産党千葉市議団は市民生活を支えるために、料金改定は中止すべきと求めました。また、これまで提案してきた保育料無償化の対象年齢の拡充などが実現しました。

9割の市民が暮らしが悪くなったと回答

日本共産党千葉市議団は、2026年度の予算編成に市民の声や要望を反映させるための「市民要望アンケート」を5月、6月で実施しました。ご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見・ご要望は、千葉市の予算編成の際に、反映されるよう要望してまいります。

アンケートでは、約9割の市民が物価高による影響で暮らしの質が低下していると答えています（円グラフ参照）。寄せられた多くの声を活かすためにも、今後、国・千葉県・千葉市へ届けて物価高騰対策の強化を求めました。



実現

**保育料の所得制限・年齢要件廃止と
第2子半額、第3子無償へ**

党市議団として保育料無償化の拡充、国基準の小1の壁と言われる年齢制限（第1子が小学校にあがった場合は第1子としてカウントされない）の見直しを求めてきました。今回、市は年齢要件とあわせて所得制限も撤廃して、第2子を半額、第3子の無償化の対象を広げました。今年9月からの実施で、低所得世帯等（年収約360万円以下）への軽減策もあります。

（拡充前）

所得制限	年収約360万円以上	
年齢要件	就学前児童の人数のみをカウントする	
同時入所要件	保育所、認定こども園、地域型保育事業、幼稚園企業主導型保育事業、特別支援学校幼稚部児童心理治療施設通所部、児童発達支援	
要件合致の判定結果	該当する場合	該当しない場合
保育料	第1子 基準額	基準額
	第2子 基準額の1/2	基準額
	第3子 無料	基準額

（拡充後）

所得制限	なし
年齢要件	なし
同時入所要件	なし
要件合致の判定結果	判定は不要（生計が同一の多子世帯はすべて対象）
保育料	基準額
	基準額の1/2
	無料

[アンケート結果はこちら](#)



**提案
実る**

**手話が言語であることの普及と、
障害者のコミュニケーション手段
の利用を促進する条例を制定**

党市議団は、2024年の第1回定例会で、手話は言語であることを理解促進するための手話言語条例を提案していました。

6月議会に市から提案された条例は、手話にとどまらず、多様な障害特性に応じた情報提供や支援者の確保を図る内容も追加されています。

この条例には手話言語の普及や教育に係る規定はありませんが、きこえの教室での補聴器使用訓練や聞き取りの訓練などの支援強化を行うことや、教育委員会と連携し、市立学校での手話教室を積極的に開催することなど、理解促進に取り組むよう求めました。

**障害者
コミュニケーション事業**

- 代筆・代読支援事業 118万6,000円
- 筆談用ボードの設置 181万4,000円



**物価高騰が続いているのに
今度は公共施設の利用料値上げ!?**

利用料値上げに自民、公明、立憲、維新が賛成

今回の議会に、コミュニティセンターやスポーツ施設など59施設もの公共施設の利用料値上げが市から提案されました。2026年4月から値上げとなります。

今回の値上げによる影響額は1億8千万円に及びます。値上げを行わなかった場合に運営に支障をきたすのかと質すと、市は「ただちに支障をきたすことはない」と答えています。物価高騰のもと市民負担を増やすべきではありません。

施設の値上げ例	施設名	土日祝	(円)	
			改定前	改定後
	市民会館大ホール	土日祝	133,840	173,990
	美浜文化ホール (音楽ホール)	土日祝	24,080	31,300
	土気あすみが丘プラザ	集会室	340	440
	スポーツ広場・庭球場	2時間	630	810